

～東北・北関東の特産が目白押し！～ 再エネ連携自治体交流物産展を開催します！



横浜市は、2050 年までの脱炭素化の実現に向けて再生可能エネルギー（以下、「再エネ」という。）の普及拡大に取り組んでおり、再エネ資源を豊富に有する市町村と連携協定を締結しています。

このたび、横浜市と連携協定を締結している自治体を身近に感じていただける交流物産展を開催します。東北・北関東の特産に一度に出会える貴重な機会ですので、ぜひみなさまお越しください！

再エネ連携自治体交流物産展 概要

日時：令和 7 年 9 月 18 日（木） 12：00～18：00

9 月 19 日（金） 10：00～15：30

※当日の販売状況等により時間を変更することがあります。

場所：横浜市役所 1 階アトリウム（横浜市中区本町 6-50-10）

内容：特産品販売、観光 PR 等

参加自治体：青森県横浜町

岩手県久慈市

軽米町

洋野町

九戸村

一戸町

福島県いわき市

茨城県神栖市

合計 8 自治体



左上から、軽米町 さるなし商品、横浜町 ほたて干貝柱、いわき市 ハワイアンカレーせんべい、一戸町 くるみもなか
左下から、洋野町 赤鶏カレー、久慈市 南部煎餅、神栖市 神栖の野菜、九戸村 あま茶リーフ

主催：横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課

（参考）再エネに関する連携協定

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは 2050 年の市内の電力消費量の約 10%と試算され、再エネへ転換するためには、市域外からの供給が必要不可欠です。2050 年までの脱炭素社会の実現に向け、再エネ資源を豊富に有する 17 市町村（※）と、再エネの創出・導入・利用拡大、相互の地域活力の創出等の分野において連携協定を締結しています。



※17 市町村：青森県横浜町、岩手県久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町、秋田県湯沢市、八峰町、大潟村、福島県会津若松市、郡山市、いわき市、茨城県神栖市

お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





別紙

横浜市は連携自治体とともに
脱炭素社会の実現を目指します



再エネ連携自治体交流

物産展
9/ 18 (木) . 19 (金)
12:00~18:00 10:00~15:30

※当日の販売状況等により時間を変更することがあります

横浜市役所 1階 アトリウム

参加自治体

- ・青森県 横浜町
- ・岩手県 久慈市、軽米町、洋野町
九戸村、一戸町
- ・福島県 いわき市
- ・茨城県 神栖市



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります

脱炭素・GREEN×EXPO推進局循環型社会推進課